

文芸書



眠れる美女たち 上  
ステューヴン・キング/著  
オーウェン・キング/著  
凶悪事件の犯人イーヴィは小さな町の子刑務所に移送される。同じ頃、世界中で女だけに災いする「眠り病」が広がる。残された男たちを不安と恐怖が蝕んでいく中、イーヴィだけが眠りから逃れているようで…。

わたしのもう一つの国 ブラジル、娘とふたり旅

老いてこそ生き甲斐

さだの辞書

見果てぬ花

たべる生活

ガラスの50代

おぼんでございます

いつの空にも星が出ていた

鳩護 (はともり)

夜に駆ける YOASOBI小説集

ミッドナイトスワン

浅草迄

きのうのオレンジ

とわの庭

湖の女たち

夢七日 夜を昼の國

カレーライス 教室で出会った重松清

八月の銀の雪

落葉の記

アンと愛情

ふたりでちょうど 200%

肉体のジェンダーを笑うな

江戸染まぬ

コーチ

聖女か悪女

お探し物は図書室まで

エール 下

ハグとナガラ

青田波

復讐の協奏曲 御子柴礼司シリーズ 5

あかり野牧場

角野栄子

石原慎太郎

さだまさし

浅田次郎

群ようこ

酒井順子

桜木紫乃

佐藤多佳子

河崎秋子

星野舞夜

内田英治

北野 武

藤岡陽子

小川 糸

吉田修一

いとうせいこう

重松 清

伊与原新

勝目 梓

坂木 司

町屋良平

山崎ナオコーラ

青山文平

堂場瞬一

真梨幸子

青山美智子

林 宏司・原案

原田マハ

佐伯泰英

中山七里

本城雅人

※紹介しきれない本、雑誌、漫画も多数ありますので、お時間のある時ぜひ図書館へお越しください。

一般書・児童書



北海道のトリセツ  
昭文社/出版



パソコンで困ったときに開く本2021  
朝日新聞社



おしりたんてい  
おしりたんていのこい!?  
トルルさく・え



浅田撮影局  
浅田 政志/著

上士幌町図書館ブログでも入荷情報をご案内しています。

<https://horonlibrary.blogspot.com/>



旅ボン 台湾・台北編  
ボンボヤージュ/著



力尽き筋トレ  
石本 哲郎/著



ノラネコぐんだん  
ケーキをたべる  
工藤 ノリコ/作



かみしほろ  
としよかんたより



上士幌町図書館 生涯学習センター1階 ☎2-4634

◆開館時間 10:00~18:00 貸出制限なし(ただしDVDは3タイトルまで)

◆休館日 毎週月曜日・月末日(最後の平日)・年末年始(12月30日~1月5日)

としよかん映画会

上映作品 うっかりペネロペ

◆日時 令和3年1月16日

10時30分~12時00分

◆会場 生涯学習センター視聴覚ホール

◆上映時間 1回目:10時30分~10時55分

2回目:11時30分~11時55分

◆定員 1回目、2回目それぞれ15名まで

◆申し込み 事前の申込が必要です。定員になり次第、締切とさせていただきます。お申込みは、図書館カウンターまたは電話(図書館2-4634)まで

◆注意点 マスクの着用、手指の消毒をお願いします。体調がすぐれない方は入場をご遠慮ください。



自慢の年賀状展

◆期間 令和3年1月23日~2月7日

絵手紙サークル「どんぐり会」の協力で、今年も『自慢の年賀状展』を開催します。味わい深い手作りの年賀状をぜひご覧下さい。また、皆さんが自慢したいと思う年賀状がありましたら図書館にお貸し下さい。一緒に飾らせていただきます。

年末年始休館日のお知らせ

図書館は、年内12月29日(火)まで開館します。

年末年始休館日は、12月30日~1月5日です。この期間中は職員が不在ですので、貸出中の本などの返却については、年明け初開館日の6日以降にお願いします。



ようこそおはなしの世界へ

★お話し会

◆日時 1月9日 10:30~

◆会場 わっか プレイルーム

◆定員 15名

◆注意点 マスクの着用をお願いします。体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。



※絵本のトビラは映画会開催のため中止させていただきます。

おすすめの1冊

おじいちゃんの手  
マーガレット・H・メイソン文  
フロイド・クーパー 絵  
もりうち すみこ 訳



おじいちゃんの手

「どうだ、ジョーゼフ、わしの手は。」で始まる前半は、靴紐の結び方、ピアノの弾き方、トランプの切り方、ヒットの打ち方を可愛い孫に愛情を込めて教える様子がおじいちゃんの目線で描かれており、微笑ましく読むことができます。

しかし、「ジョーゼフ、知ってたか?」からはおじいちゃんの悲しみと苦しみが描かれています。

けれど、おじいちゃんはなかと「手」をつなぎ、戦います。

そのおかげでジョーゼフは「なんでもやれる手」を手に入れることができたのです。そのことをジョーゼフとおじいちゃんの視点から描き、物語を締めくくっています。

今回ご紹介した本は「絵本」ですが、子どもから大人までの各年代で人間の尊厳や平等について考えられる作品です。油絵の具で描いた絵を練り消しゴムで消すという独特の技法の絵も素晴らしいです。

大樹町出身のよねやまひろこさんによる「サラガのパオバブ」は自由について考えさせられる一冊なので、是非一緒に手に取ってみてください。

大人が読んで深い感動を感じる絵本はたくさんあります。